

令和8年度 上山市立南小学校 学校経営全体構想

県7教振・市重点施策

学校教育目標 **強く・高く・美しく めざせ けやきの子ども**

令和8年度の重点目標 めざす子ども像

<p>■ 強く</p> <p>めあてをもち、進んで取り組み、自分を高める子</p> <p>■ 自分に合った一つ上のめあてをもち</p> <p>■ 最後まであきらめずやり抜く</p> <p>■ 成果と課題を適切に評価し次に活かす</p>	<p>👍 高く</p> <p>互いを認め合い、思い・考えを伝え合う子</p> <p>👍 相手意識を持って聴く・伝える</p> <p>👍 理由や根拠をわかりやすく伝える</p> <p>👍 既習やくらしの中から課題を見出し、解決するために進んで取り組む</p>	<p>☆ 美しく</p> <p>主体的に取り組み、くらしをよりよくしていこうとする子</p> <p>☆ になりたい自分になるために、できることを考え、自主的に実践する</p> <p>☆ 自他の個性を尊重し合い、力を合わせて取り組む</p>
--	---	--

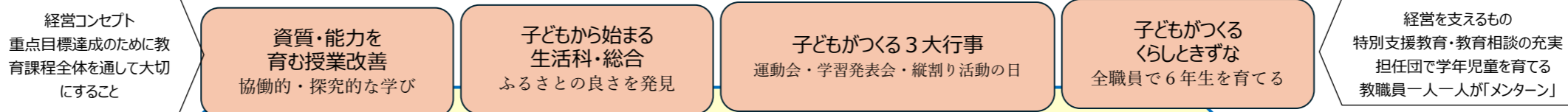
重点目標の評価と検証方法【教頭・教務】

- 学校評価
(児童・保護者・教職員・学校運営協議会による)
- 客観的評価
(全国学力・学習状況調査、標準学力調査、QU)
- 重点目標・経営コンセプトについての評価
(①学校研究、②カリマネ、③生活科・総合、④特別活動についてのPDCA)

重点目標設定理由

- 1 身に付けさせたい資質・能力の観点から
 - ① 自ら動き出し学びの主体となる
 - ② 多様な見方・考え方に挑戦する
 - ③ 根拠を明確にし、筋道を立てて説明しようとする
 - ④ テキストを理解し、熟考し、意見を伝えることができる
- 2 めざす子ども像の観点から
 - 学力の3要素第3「学びに向かう力、人間性等」の育成の重視
 - [強く] 心身のたくましさの育成
 - [高く] 協働的・探究的に学ぶ力の育成
 - [美しく] 主体性と志の育成

学校経営テーマ **子どもが学びの主体として育つ学校をつくる**

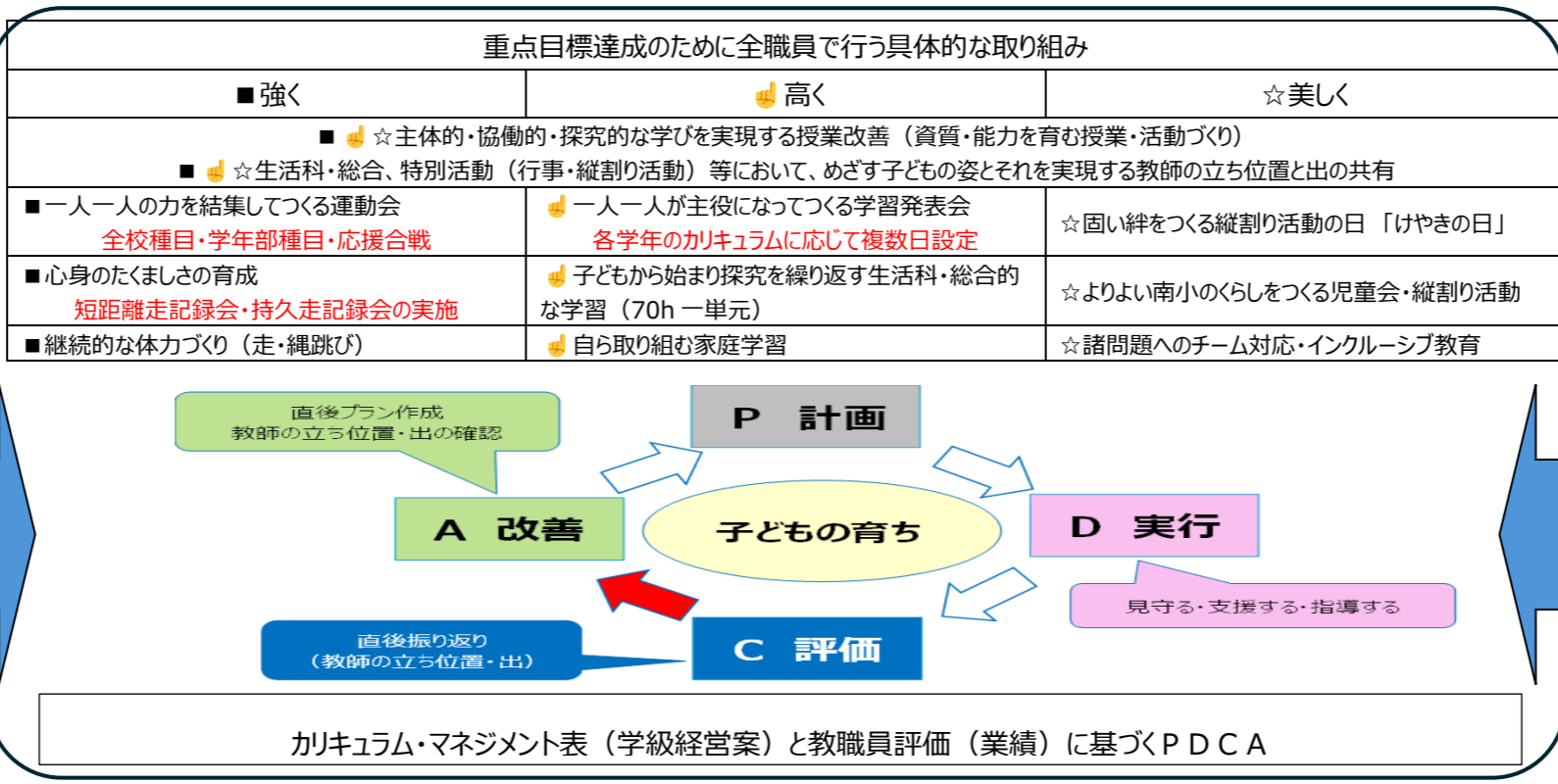


<働き方改革>

- 職員の意識改革
 - ・自分と向き合う時間を確保し、日々の生活を豊かにする
 - ・意識改革の必要性を呼びかける
 - 学校内の改革
 - 「南小学校働き方改革2026の実施」
 - ・子どもと向き合う時間を確保し、ゆとりを生み出す
 - ・会議・行事を見直し精選に取り組む
- ⇒ 働き甲斐改革

- 個々を育てる各部の活動
- 「強く」育成部【健康安全指導】
- ・心身のたくましさの育成
 - ・いのちの教育
 - ・運動会企画運営
- 「高く」育成部【学習指導】
- ・学校研究による授業改善
 - ・カリキュラム・マネジメント
 - ・生活科・総合の見える化
 - ・自ら取り組む家庭学習
 - ・学習発表会企画運営
- 「美しく」育成部【生徒指導】
- ・児童会活動、学級活動
 - ・縦割り活動・清掃
 - ・インクルーシブ教育推進
 - ・縦割り活動の日企画運営
- 教育活動をつくる【教務部】
- ・コミュニティスクールとの連携

教科・総合・特活を横断するカリキュラム・マネジメント



重点目標を具現化する学校研究

- 【研究主題】
自ら学びをつくり、楽しむ子どもの育成
- 1 研究の内容
 - ・子どもの学びを動かす「問い」に着目し、問いを起点とした授業づくりを通して、主体的に学ぶ子どもの育成を目指す。
 - 2 研究の方法
 - ・学級カリキュラムマネジメント表を基にした単元構成
 - ・一人一授業公開またはワークショップの実施
 - ・みんなでつくる事前研究会・明日からの授業につなげる事後研究会
 - 3 授業改善の視点
 - ・問いの生成：聴き合う関係づくりと課題づくり
 - ・問いの共有：「わからない」の質の向上
 - ・問いをもとにした学び
 - ・学びを邪魔しない「教師の出」の吟味

<OJT 推進>

- 同僚性の構築
 - ・校外研修へ積極的に派遣
 - ・学年会や校内研の定期的開催
 - ・教職員評価、面談の活用
 - ・横の「た・い・わ」と縦の「ほう・れん・そう」でしっかり連携
 - ・職員研修や若手研などの意図的計画的な設定
- *「た・い・わ」
- た：たがいの考えを認め合う
 - い：いいことも気になることも努めて伝え合う
 - わ：わくわくすることを語り合う

担任が授業づくり・活動づくり・学級づくりに専念できるよう教員の教育活動を支援する学校経営活動

<p>A 組織・運営の改善 会議改革【教務主任】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年単位で教科担任制や習熟度別学習等を取り入れ、担任団で学年の子どもを見守り、育てる ・学校研究やカリマネを進めるための時間を確保する ・カリキュラム・マネジメントや生活科・総合的な学習など、必要に応じて研修会を設定する ・毎週火曜日に教務会、水曜日に職員総会 	<p>B 教育課程の改善等【教務主任】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議・主任会や学校研究、児童会、生活・総合、参観・面談などのスケジュールを適切に管理し、子どものよりよい育ちを実現する教育課程の改善に努める ・日課表を見直し、6校時をなくす。基本的に5校時+モジュール (1週間で9モジュール) とする ・1年生の年度初めの20日間を「スタートプログラム」として、スムーズな学習への導入を図る 	<p>C 特支教育・教育相談体制の見直し・改善【特C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ組織的な対応により、担任の困りごとに寄り添い支援する体制を構築する ・特支学級児童、別室登校児童、その他の配慮が必要な児童について、担外会等で情報を共有・整理し、適切な支援ができるようにする ・様々な児童のニーズに合った支援ができるように、教育環境を整備する 	<p>D 家庭・地域との連携、教育資源活用等【教頭・推進員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中連携を推進する ・地域学校協働活動推進員を中心に、コミュニティ・スクール事業を積極的に推進する ・地域学校協働活動の充実を目指し、地域人材・資源の掘り起こしと情報整理を行う ・学校だよりやHP、地域の集まりにおいて、子どもの成長の姿を積極的に発信する
--	---	---	---